
歴史遺産学科学生たちが、上山市立図書館蔵「地引絵図」の研究成果を発表
上山の明治初期の自然や歴史、農村部の土地利用などを検証した資料を展示しています

東北芸術工科大学(山形市上桜田／学長 中山ダイスケ)歴史遺産学科では、「社会教育実習」の一環で行った上山市立図書館蔵の「地引絵図」の研究成果を、3月28日より、同館で展示・発表しています。

この絵図の下地は、和紙を何枚も張り合わせた巨大なもので、現物を頻繁に出し入れすることで紙の破れや光での劣化がおこるため、細部まで読み取れる詳細な画像を撮影することでの保存と活用が望まれる状況でした。

本学学生たちは、巨大絵図を撮影した何枚もの部分写真を「オルソ(正射)画像」に加工し、ばらばらだった20枚の絵図を接合して活用できるようにしました。また、そうした作業を行うことで、これらが明治6年の「地租改正」に伴って全国一斉に調査、作成された土地台帳の付図(地番、地目、面積を記載)で、明治22年に合併した旧上山町の役場に保存されてきた史料群だったことが分かりました。(絵図が作成したのは明治8年。わずか7年間だけ存在した行政区「大区小区制」の時代でした)

展示会場には、この時代の上山の街並みを知ってもらうために、江戸から明治への湯町の旅館の変遷辿った資料や、明治11年に上山を訪れたイザベラバードの紀行文を紹介した資料を展示しています。また、明治天皇が上山に行幸した明治14年頃の街並みを描いたとされる「上山戸別図」も立体にして展示し、ビジュアルに往時の上山の姿を想像できるように工夫しました。

※ 展示概要:<https://www.tuad.ac.jp/2021/03/92424/>

上山の自然や歴史、資料的価値、上山の明治初期の街並みや農村部の土地利用(宅地、田畑や道路・水路・ため池)の様子を、本展を通して想像いただけましたら幸いです。

絵図からみる上山 江戸から明治へー地引絵図を中心にー

会期:2021年3月28日(日)～5月23日(日)

時間:9:00～19:00

会場:上山市立図書館(上山二日町10-25 二日町プラザ5F／TEL:023-677-0850)

休館日:水曜日

主催:東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科

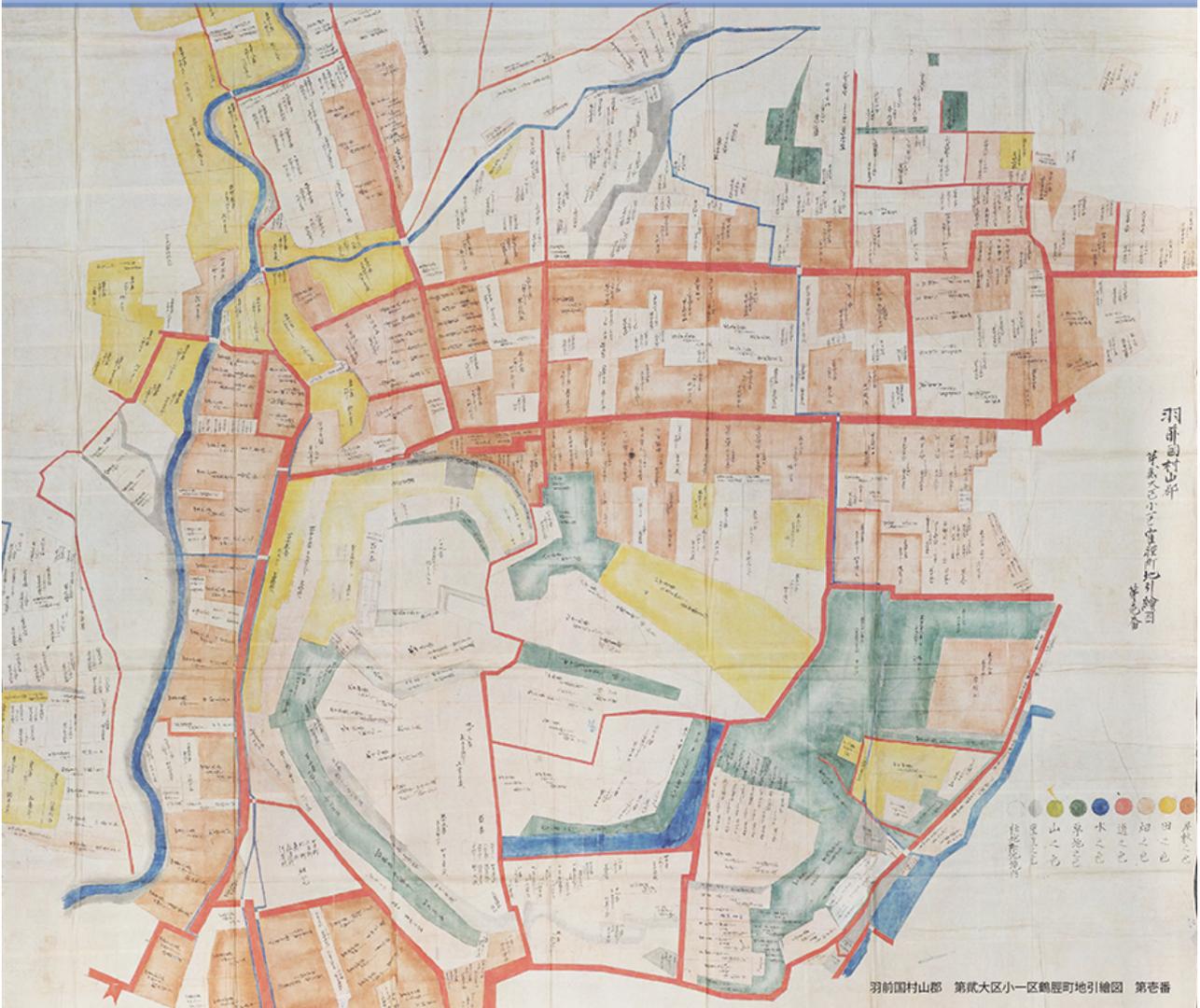
参加学生:土井愛夕美、加藤彩花、高橋芽生、柴田桃花(全員、歴史遺産学科2年)

指導教員:北野博司(歴史遺産学科教授)

お問い合わせ:東北芸術工科大学 入試広報課 TEL:023-627-2246

絵図 からみる上山

江戸から明治へー地引絵図を中心にー



羽前国村山郡 第貳大区小一區鶴屋町地引繪図 第老番

会期 令和3年3月28日(日)～5月23日(日)
場所 上山市立図書館 上山市二日町10-25 二日町プラザ5階
主催 東北芸術工科大学 歴史遺産学科



絵図の撮影風景